

平成二十二年五月二十日提出
質問第四八七号

国立公園内における危険木の調査並びに処理に関する質問主意書

提出者 木村 太郎

国立公園内における危険木の調査並びに処理に関する質問主意書

十和田八幡平国立公園の青森県内に位置する奥入瀬溪流で、かつて危険木による不幸な事故が発生した。十和田八幡平国立公園は、日本でも有数の観光地になっており、その中でも特に奥入瀬溪流は、人気スポーツの一つになっている。本年十二月、東北新幹線新青森駅開業が予定され、いつそう観光の分野でも期待が寄せられている。その観光地における事故を未然に防ぐためにも、危険木の調査や処理などの対策は極めて重要と考える。

従って、次の事項について質問する。

一 青森県は今月始め、奥入瀬溪流の遊歩道沿いや国道側における危険木調査をしたようだが、その中で枯れ木・枯れ枝・監視木等は、それぞれ何本になっているか、国は把握しているのか。またその状況を踏まえ、危険性について、国はどのように認識しているのか。

二 一に関連し、危険を排除するため、青森県と国との役割分担や処理などの具体的対応策について、国としてどのように進めていくのか。

右質問する。